



だより



TheHOLONICS

2021.01号

間食について

ホロニクスグループ 栄養管理部

新型コロナウイルスの流行に伴い、おうち時間が増えている方も多いかと思います。

家にいると、ついつい手が伸びてしまうのが間食。間食にはリンやカリウム、塩分が多く含まれているものもあり、選び方には注意が必要です。また、間食の食べ過ぎにより食事量が減ってしまうと、必要な栄養素が不足してしまう可能性もあります。それぞれの間食の特徴を理解し、上手に調整を行いましょう。

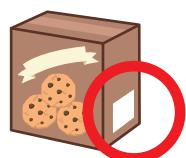


●基本

1日 100～200kcal 程度に収めるとよいでしょう。

購入時には成分表示（エネルギー、塩分など）のチェックを習慣づけると◎

※リン、カリウムは記載のないことがほとんどなので、以下のような特徴を把握しておくと安心です。



間食の特徴とそのポイント

洋菓子 … 原材料に卵や生クリーム・牛乳などの乳製品を使用しているので、リンが多く含まれる。

ポイント: 量と頻度に注意。



和菓子 … 栗、芋、豆、黒砂糖を使用するものはカリウムが多く含まれる。

ポイント: あんこでは、粒あんよりもこしあんの方がカリウム量が少ない。



スナック菓子 … 基本的に塩分量が多い (100gあたり食塩1.0g)ため、食べ過ぎてしまい、水分も欲しくなる傾向にある。特にポテトチップスなどの芋を使用するものはカリウムも多く含むため注意。

ポイント: 小袋(15～20g程度)にするか、あらかじめ小皿に取り分ける。



菓子パン … 1個当たりの量が多く、基本的にリン、カリウムとともに多め。特に、クリームやチーズを使用しているものはリンを多く含むため注意が必要。

ポイント: 量と頻度に注意。





おすすめの間食

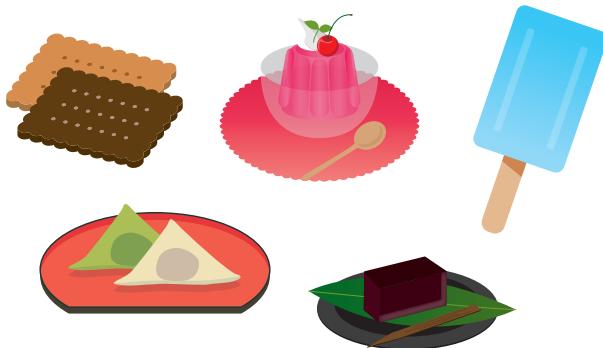


●低リン+低カリウム…

ビスケット、ゼリー、八橋、
腎臓病治療用特殊食品など

●低カリウム…水ようかん、葛饅頭など

●低リン…かりんとう、シャーベットなど



注意したい間食



●高カリウム…

ポテトチップス、きんつば、どらやき、
芋けんぴ、ナッツなど

●高リン…ケーキ、ショートクリーム、アイス

クリーム、パンケーキ、クリームパンなど



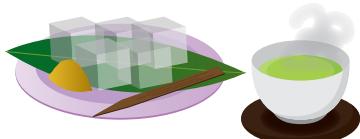
透析食レシピ紹介

「わらび餅」

塩分ゼロ！低エネルギーですが、満足感のある一品です。
きな粉はリンを多く含みますが、全体にまぶすのではなく、
振りかけることで使用量を抑えることができます。

作り方

材料 (4人分)	
わらび餅粉	50g
水	250ml
上白糖	25g
きな粉	2.5g(小さじ 1)
黒蜜	6g(小さじ 1)



- ①ボウルにわらび餅粉、水、上白糖を入れてゴムべらでよく混ぜ合わせる。
- ②①をザルでこしながら鍋へ入れ、中火にかけてゴムべらで混ぜ続ける。
- ③半透明になったら弱火にし、混ぜ続ける。
- ④透明になったら 2 分程度練り混ぜる。
- ⑤④をバットなどに入れ広げて、人肌になるまで常温に置き、食べる 20 ~ 30 分前に冷蔵庫へ入れる。
- ⑥一口大に切り、器に盛りつける。きな粉を振りかけ、黒蜜を回しかけて完成。